

第三セクターめぐり活発な議論

総務常任委員会の所管事務調査が10日行われ、第三セクター等の経営健全化をめぐって活発な議論が展開されました。

一番議論になったのは、ホールディングスのこれまでの取組と今後についてです。第三セクター等経営検討委員会の検証結果では、「経営実績としては（中略）、当初計画は総じて未達成」「これらは、持株会社化の効果を享受

するための経費削減の取組を、ホールディングス側が確実に実行しなかったこと、また、市が持株会社化のコンセプトを十分に伝えきれず、経営方針が当初目指していたものと異なってしまったことが要因と考えられる」となっていました。

委員からは、「前者（会社側の責任）と後者（市の責任）はどういう比率だと考えているのか」（内山委員）、「前社長と現社長の聞き取りをすべきではないか」（滝沢一成委員）、「前社長は2年で、市は3年で全社黒字化をめざす

としてきた。もっと早い時点で総括し、対応すべきだったのではないかと（橋爪）などの質問が相次ぎました。

第三セクターに関しては、第三セクター等検討委員会への諮問などを経て、3月末までには市の関与方針を策定することです。今後の動きに注目です。



市内各地でサイの神行事

11日からの3連休は市内各地でサイの神行事が行われました。私は吉川区川谷地域と地元の代石で楽しみました。写真は吉川区川袋です。



ジャンボ豆餅
年末にジャンボ豆餅をいただきました。前年に続いて2回目です。数年前に七くなったお母さん仕込みの豆餅だという事です。正月になって、ストーブの上で焼いて食べましたが、間違いないお母さんの味でした。Nさん、ご馳走様でした。



通行止め一部解除後、民間第1号は移動販売車・「やまざくら号」

先月27日から通行止めとなっていた県道大湊高柳線の大島区竹平-藤尾間は、予定通り11日午後2時から通行できるようになりました。この日、民間車で初めて通行したのは全日食チェーン・「やまざくら」の移動販売車（吉野さん運転）でした。

ただし通行できるのは1車線で、午前6時から午後8時までの時間帯となっています。



【イチゴ】バラ科の多年草。漢字で、「莓」と書きます。春に白い花を咲かせるのですが、いまはハウス栽培などで、いつでも咲かせることが可能です。写真は今年の1月2日、大島区藤尾のビニールハウスにて撮影しました。

はしづめ法一の活動レポート

No.1893 2019.1.20

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
Tel 025-548-3628
通じないときは 090-5392-1961
E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
URL <http://www.hose1.jp/>



ブログ「ホーセの見
てある記」は
← こちら

橋爪法一

検索

春よ来い

第五四一回 林英夫先生のこと

人生の最後の場面で、その人についての新しい発見をし、心を揺さぶられる。そんなことがあるんですね。

一月の半ば、旧源小学校水源分校で私の三、四年生の時の担任だった林英夫先生の告別式に参列したときのことでした。受付をすませてから、懐かしの写真や遺品などが展示されている「コーナー」へ行って、「これはすごい」と思いました。

そこには、高志小学校の校長として卒業式でのべられた式辞が広がっていました。「樵の芽吹き之音と共に春日山頭から春風に乗って上杉謙信の雄叫びが聞こえそうな好き日……」。式辞は毛筆で書かれていました。それも一字一字丁寧に書かれていて、とても美しかったです。

最初に見たときは、旧吉川町時代、町が作った表彰状などを書いていた泰助さんの文字かと思いました。旧源小学校の先輩である泰助さんも林先生の教え子の一人だったということが私の頭にあったからです。

確かに似てはいましたが、林先生が書かれたものであることは、筆の運び方の違いなどからすぐに判断できました。

式辞は一つだけではありませんでした。上越市内だけではなく、旧栃尾市内の小学校時代のものもあり、卒業式の他、学校の記念行事のものもありました。さらに、ご友人と思われる人の告別式での弔辞もありました。みんなで一〇前後並べてあったのです。たぶん、自筆で書かれたものはきちんと保存管理されていたのでしょう。

式場に入ってまもなく、高志小学校校長だった林先生のもとで仕事をされていたという女性の方から声をかけていただきました。直江津の三八市で何度か言葉を交わしたことがある方です。

「林先生は歌も教えられたと言われました

けど、私、信じられないんですね」

そう言われました。でも事実です。旧源小学校の分校時代に、二階の音楽教室で、「りんごの花ほころび川面に霞たち君なき里にも春はしのびよりぬ……」という歌詞で有名な「カチューシャ」も「原爆許すまじ」も林先生に教えてもらいました。

私が林先生のことについて記憶に残っているのは歌だけではありません。社会科の授業、とくに歴史の話が面白く、引きつけられました。そこで私は勉強に目覚め、意欲的に勉強するようになりました。通知表の中で最初に「5」の評価をもらったのは社会科でした。放課後は徹底した漢字学習もありました。先生に「よし」と言われるまで一階の教務室に通ったものです。こんなことから、私にとって林先生は忘れることのできない恩師の一人になったのでした。

告別式では、弔辞で社会科の話が出るものと思っていました。ところが、林先生は「算数教育にゆるぎない情熱を傾けられ、『新潟の算数物語』を執筆されるなど、算数教育の発展に尽力された」と紹介されました。これにも驚きましたね。まさか、算数教育のプロでいらっしやうとは……。

私が知っていたのは、優れた教育者であった先生のごく一部に過ぎなかつたのです。出棺の時、先生の棺を六、七人の参列者で霊柩車まで運びました。私もその一人に加えさせていただきました。運び終わって、元の位置に戻ろうとしたとき、息子さんから声をかけられました。

「橋爪さん、うちの親父は橋爪さんの本をずっと離しませんでした」

この言葉を聞いたとき、グツときました。涙があふれ出て、止まらなくなりました。大きな柱の裏に回りました。そして、涙を手でぬぐいました。

市職労の旗開き

市職員労働組合の旗開きが11日、市内で行われました。

今回の特徴は和栗委員長(写真)や来賓の挨拶で、今年は消費税増税や憲法改悪などが予定されていて、極めて重要なたたかひの年になることが強調されたことでした。

交流会では、フェイスブックで付き合いのある人などからたくさん声をかけていただき、意見交換をさせていただきました。なかには、かな



り昔に私の家族の者と茶道をやっていたという人もありました。うれしかったですね。

ニュースフラッシュ

上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	1月9日(水)	1月16日(水)
上越南消防署	0.047	0.067
上越北消防署	0.047	0.057
新井消防署	0.047	0.083
頸北消防署	0.047	0.050
頸南消防署	0.050	0.060
東頸消防署	0.050	0.067
高士分遣所	0.050	0.043
名立分遣所	0.047	0.057

消費税引き上げなんて、なに考えているのか

新年に入り、直江津の三八市で宣伝行動をしました。



海からの風が吹き、寒かったですが、お店の人や買い物客の方と話ができました。

ふだん、あまり政治の話をしていない漬物屋を営んでいるお母さんが、「安倍さん、何考えているんだろいね。消費税、また上げたらとんでもないことになる」と言われたのにはびっくり。今年初めて梅を持ってこられたお母さんもおられました。